



2025年4月4日

日本鉄道労働組合連合会

## 連合『ジェンダー平等推進計画』フェーズ2に基づき 男女平等参画を推進する「JR 連合トップメッセージ」を発信

JR 連合は4月1日の新年度開始に併せ、連合が2024年11月に定めた「連合『ジェンダー平等推進計画』フェーズ2」に基づき、ホームページに「多様性を認め合い男女平等参画を推進する JR 連合トップメッセージ」を公開した（写真参照）。

“フェーズ2”では、「男女平等参画推進」「ジェンダー平等推進」を図るべく、構成組織や単組のトップリーダーに対し、それらの推進に資する内容のメッセージ発信を求めている。

JR 連合では現在、「第4次男女平等参画行動目標」に基づき、女性役員の登用・活動参画率向上に向けて取り組んでいるが、全機関での目標達成に向けては未だ道半ばだ。

JR 連合は、役員改選を行う定期大会シーズンが始まることも視野に、「男女平等参画を推進する『JR 連合トップメッセージ』」を各級機関で共有し、男女平等参画をより強く推進していく！

### フェーズ2目標設定（各目標の具体的な取り組み）

労働組合における男女平等参画のため  
機関・社会におけるジェンダー平等の推進のため

- 1** トップリーダー自らが、男女平等参画・ジェンダー平等推進についてのメッセージを発信
- 2** 運動方針に「ジェンダー平等の推進」と明記
- 3** 組合員の男女比率を毎年調査、把握

**ポイント** 連合本部・横浜総局・単組・地方連合会

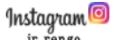
- トップリーダー自らのメッセージは、機関紙やホームページなどへの掲載や、機関会議などでの目録的な発言など、継続的に発信しましょう。
- トップリーダー自らの発信や運動方針への明記により、組織内で自覚を生かすことが男女平等参画・ジェンダー平等推進の第一歩です。
- 「性的傾向・性自認（SOGI）」にかかわらず、すべての人の人権が尊重され、能力が発揮できる社会を築くことを目指しましょう。
- 内容が簡潔であれば、一言一句同じでなくても構いません。

**ポイント** 連合本部・横浜総局・単組・地方連合会

- 組合員主体の観点から、組織ごとに組合員の男女比率を把握することが基本です。
- 地方連合会が把握するために、構成組織本部および地方連合会の協力をお願いします。



約8万人の仲間が加入するJR最大の産業別組合



JR 連合とは 安全の確立 交通政策 労働政策 民主化闘争 グループ労組 青年女性活動 機関紙・見解 政治活動

HOME > 男女平等参画

### 多様性を認め合い男女平等参画を推進する JR 連合トップメッセージ



JR 産業ではJR 7社とグループ・関連企業で20万人以上の仲間が働いており、さらに協力会社なども含めると多くの皆さんが産業を支えています。すべての仲間がお互いを尊重し合い、いきいきと活躍できる職場をつくるのが大切です。多様な仲間が参加し信頼を深めることで生まれる職場の活性化は、多様な人材が活躍できる環境の整備につながり、さらにそれは企業や産業の持続的な成長へとつながります。JR 連合は「多様性を認め合い男女平等参画を推進すること」が産業の発展に必要な不可欠であると考え、運動を積極的に推進します。

現在においても、JR 産業では泊まり勤務、不規則勤務、早朝や深夜の作業が避けられません。1999年の男女雇用機会均等法改正により女性の深夜労働が認められ、女性の参画が徐々に進みました。しかし女性比率は依然として低く、女性の活躍モデルが確立していません。この間、労使協議を通じて短日数勤務制度をはじめ不規則勤務に対応した制度の導入や環境改善に努めてきましたが、男女平等参画はまだ発展途上です。世の中では制度検討が進むものの、テレワークや時短勤務が可能な「日勤の定型的勤務」を念頭においたものが主であり、不規則勤務の職場への配慮は不十分です。だからこそ、私たちが強く発信することが必要です。JR 連合は、私たちこそが交通運輸産業の未来を創るという“ほこり”を持ち、男女平等参画に向けた取り組みをさらに進めています。

また労働組合に目を向けると、JR 連合の女性役員登用の比率は組合員比率に及ばず、女性役員の育成が十分に進んでいないのが実情です。「女性だから」という単純な理由で役員の打診をされた」という声も未だ聞かれます。すべての組合員が、多様性を認め合い男女平等参画を推進することの必要性を理解し、「あなたに頑張ってほしい」「頼られたらやってみよう」との意識を共有して女性の組合活動への参画を進め、それぞれの事情に配慮した参加の仕方も認め合い、様々な役割にチャレンジできる環境を作らなければなりません。また、組合活動に参加することで様々な仲間との交流を通じて視野や価値観が広がり、自らの成長にもつながるという認識の浸透を図ることも必要です。JR 連合は連合「ジェンダー平等推進計画フェーズ2」を踏まえ、「男女平等参画行動目標」をブラッシュアップし、目標の達成を意識して取り組みます。

以上、強い決意を含め、JR 連合からのトップメッセージとします。

も視野に、「男女平等参画を推進する『JR 連合トップメッセージ』」を各級機関で共有し、男女平等参画をより強く推進していく！